

参加
無料

和歌山大学—九州大学連携セミナー

「空飛ぶクルマ」のある未来 ～和歌山での活用を考える～



2025大阪・関西万博では、「空飛ぶクルマ(空クル)」がデモ飛行を行いました。近未来の移動手段と注目されている「空クル」は、災害支援や手軽な移動手段としての観光だけではなく、普段使いの移動手段となることも夢ではないかもしれません。しかし、そのような未来に向け、**私たちは何を考え、何をすべきでしょうか？**騒音や安全などは大丈夫なのか？離発着場をどこにするべきか？どこを飛ばすべきか？どのような地域の課題を解決したいのか？などなど、技術的・経済的な面だけではなく、倫理的・法制度的・社会的課題/影響（Ethical, Legal, Social Issues/Implications, ELSI）からの視点も重要です。**このセミナーでは、参加者の皆さんと和歌山における「空クル」の活用方法を検討いたします。**

7/16 (水)
2025

START
9:10
CLOSE
10:10

会場

和歌山大学キャンパス
西4号館 T101講義室

対象

教職員、学生 事前申込不要

9:10~

講演

司会：三和 正人（和歌山大学 産学連携イノベーションセンター チーフURA/URA室長）

JST RISTEX RInCA 事業（2021-2024年度）：
「『空飛ぶクルマ』の社会実装において克服すべき
ELSIの総合的研究」

代表：小島 立 教授（九州大学 大学院 法学研究院）

- 空クルの可能性（近年の日本における動向、現状などの概要）
- RInCAプロジェクトの概要
- ELSIの視点から見た空クル
- チェックリストの考え方、使い方

主催

和歌山大学産学連携イノベーションセンター



九州大学における研究開発は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）が推進する「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム（RInCA）」（2021-2024年度）と「JAXA航空イノベーションチャレンジ2024 powered by DGJ」（2024年度）の支援を受けたものである。